2010年に発表した、今後5年間の時代観

【今後5年間の時代観】
2010年37期、平成22年11月1日発表

(平成22年11月～平成27年10月)
(第37期・38期・39期・40期・41期)

時代はデフレーション環境です(日本は)
第37期(平成23年)デフレーション
第38期(平成24年)デフレーション(いつインフレーションが始まるか)
第39期(平成25年)インフレーション方向(ハイパーインフレ)
第40期(平成26年)コストインフレ(ギャロッピングインフレ)
第41期(平成27年)予想不可能(混沌の時代)
ハイパーインフレ（6ヶ月間)
デフレ時代に再突入か
第44期(平成30年)決着が着く

平成27年～30年は混沌の時代。
つまりジェットコースターみたいな世の中になる。
何があってもおかしくない。

世界の国の方針が、
手の平を返す様に変わる時代に突入する。

細かく書けないので、予測をやめます。

五節句(全てが奇数である）

五節句

①人日・・・1月7日人の日(七草粥)
②上巳・・・3月3日(流し雛：病気を移す→流す)
③端午・・・5月5日薬草を摘む(尚武、ちまき)
④七夕・・7月7日(棚幡)

⑤重陽(ちょうよう)・・・9月9日

奇数が強く、その中でも9が一番強い

今年の予想

今年の株式は、
日経平均17,500～22,000を抜く。

①ただし2015年(H27年)は、ジェットコースターの様に上がって下がって
乱高下するが、最終的に上がる。
4～5月頃15,000円を切る事がある。

②2017年(H29年)までは株は上がる。
30,000円もあるかも。

③2020年(平成32年)±3年に暴落があるかも。
10,000円を切る事も。

※何故か政治がいたずらをする。
金を入れる。

011年発表の経営計画書の検証をする

風を読む(世界の流れは)
(予測)

日本の円は2012年4月頃に75円(+ -10円)をつけ、
検証：①2012年2月1日76円
2014年中には110円(+ -10円)に戻すと考えています。
検証：①2014年10月1日110円

今は表面上は　　実際は

1. 日本の円は高い　-　一番借金が多く危ない国の貨幣(〇)

2. 日本はデフレ　-　　輸入品は全て二桁上昇
円高2年で120円→75円(〇)
160%
(エアコンは15%UP(9月2日発表))

3. 債権や紙幣が安全　-　金や株式や食品に投資すべき(＝)

4. 二大政党時代　　-　　保守連合へ(〇)

5. デフレ　　-　　ハイパーインフレへ(5年以内)(×伸びた)
早ければ1～2年(世界の流れの変化)

6. 太陽光　　-　　シェールガス(メタンハイドレート)(〇)
オバマ大統領が推進したグリーン
エネルギーの代表的太陽光会社
Solyndra(ソリンドラ)社、倒産。
5億3,500万ドル融資保証の政府出資会社。

※東京都、天然ガスハイブリッド発電。同じ発電量で必要な土地(1/280)、
3万平米　対　840万平米(太陽光)　　(〇)

7. お金の時代　　-　　心の時代(絆)(〇)
コンピューターマネー　　実質価値のあるお金へ

行動理念

国や行政を当てにしない
(国家は国民を守らない)

自助努力の精神を持つ
(少子化も何一つ国家は手を打てない)

『一生懸命』

(自分の事は自分達でやるのみ)

1. 一から出直し質素・勤勉を実行する

2. 落ち込む時期にこそ！差をつけるチャンス

3. 決めた事は決して諦めない、最後までやりぬく

4. 大きなイベントの裏で悪さをする

5. 本当に頼りになるのは自分と仲間達のいる自分の会社

第10期(昭和58年)発表

◆2014/12/5(Fri)流れ　＝　世界

1. アメリカの国家警察の無能化HPに書いたが、オバマ大統領の無能化、無力化、ともかく運が無い

2EUのまとまりの無さと、経済の不安
(26年9月今回のスコットランドの独立投票他)

3. ロシア、プーチン大統領の苦戦のシェールガスで、
高い石油が売れず、経済の大幅縮小

4. 中国の万博後5年～10年で
(日本2020年前後5年で、経済崩壊と生活困窮者の膨張)

4-2. 中国は軍と共産党の競い(きそい)、7軍団の戦国志状態へ
1)シャドーバンキング問題の解決は困難＝500兆円(90%が倒産)
2)モラル無き社会＝思いやりなどの全くない国
PM2.5過剰生産、食品衛生問題
3)富裕層の70%が、中国を脱したいと思っている
元の流出、ドル買い
(海外に国有企業でさえ会社を作り、資産を逃している)
4)軍と共産党の対立と国の分裂
5)アメリカは中国崩壊のシュミレーションをしている
オスプレイの配置の意味(在中国米国人は1万人、日本人は15万人)
日本人は救い出せない

5. 軍事費

①アメリカ80兆円、中国20兆円、ロシア10兆円、日本6兆円
②中国の20兆円の内、半分は汚職か？

行動原理

経営とは
結局
組織の効果的
運用である

1. 凡人に非凡な事をさせるのが組織である

2. コンクリートが強固なのは
セメント・砂利・砂というそれぞれ違った性質のものが
適切な分量で配分されているからである

3. 18歳の高卒の事務員が、私の印を押した1億円の小切手を、
銀行に持って行けば、1億円のお金と変えられる。

第10期(昭和58年)発表

流れ　＝　日本

1. 成長路線、2019年までは（オリンピック関連30兆円）
①東京のみが№1
②東京に出るか東京の側で東京に入る
③アベノミクスは最後のバブル（2013.11.1）
1)正社員は40万人減、非正規雇用増（全体の1/3）

2. 人口
①100年で3倍に、今後100年1/3になる

②2050年に秋田県で36%減、青森県で32%減、長崎県28%減
③2020年には71歳の人間の人口が一番多い
④40歳で未婚が珍しくない状態
生涯未婚率　男30%　女23%
88歳の父親と61歳の息子が同居

3. 住宅
①空き家1200万戸(現在800万戸)＝社会不安(当社の関連事業に)
中古住宅活用の時代
②橋、道路の50%は要補修(300兆円必要)(当社の出番)

4. 社会保障費の大増加、100兆円→160兆円(当社の新事業)

5. 高齢者のメンタルケア(社会問題になる)

6. 若い人材教育と夢の持ち方(甘えの構造、レベルの低下)

7. 常にアンテナを立て、社会の情報を活用する(新たな発展)

流れ　＝　世界

1. アメリカの国家警察の無能化□HPに書いたが、オバマ大統領の無能化、無力化、ともかく運が無い

2□EUのまとまりの無さと、経済の不安
(26年9月今回のスコットランドの独立投票他)

3. ロシア、プーチン大統領の苦戦のシェールガスで、
高い石油が売れず、経済の大幅縮小

4. 中国の万博後5年～10年で
(日本2020年前後5年で、経済崩壊と生活困窮者の膨張)

4-2. 中国は軍と共産党の競い(きそい)、7軍団の戦国志状態へ
1)シャドーバンキング問題の解決は困難＝500兆円(90%が倒産)
2)モラル無き社会＝思いやりなどの全くない国

PM2.5□過剰生産、食品衛生問題
3)富裕層の70%が、中国を脱したいと思っている
元の流出、ドル買い
(海外に国有企業でさえ会社を作り、資産を逃している)
4)軍と共産党の対立と国の分裂
5)アメリカは中国崩壊のシュミレーションをしている
オスプレイの配置の意味(在中国米国人は1万人、日本人は15万人)
日本人は救い出せない

5. 軍事費
①アメリカ80兆円、中国20兆円、ロシア10兆円、日本6兆円
②中国の20兆円の内、半分は汚職か？

アベノミクスを検証する

(第41期経営計画書で発表されました)

安倍さんが、4月に消費税を8%に上げ、強気の読みを行ったが、
やはり半年経っても消費は戻らず、私の予言通りになった。（第39期計画書）

住宅などは駆け込み買入をせず、
消費税増税後、半年以上経った26年10月頃から考え、
27年の1年後位に買入すると2～3割引になると。

GDPの4月～6月期は、前年比率-6.8%と発表したが、
実際は-7.1%であった（0.3%の違いは□GDP500兆円で1.5兆円である）
国家の税収の約3.4%である。
大批判された橋本首相は、1997年4月～6月は-3.5%であった。

物価は3%台の上昇、人が足りないと言っていたのは4月のみで、
6月よりは失業率も上がり始め、人も募集しやすくなった。

8月の新車販売台数も-9.1%、住宅着工戸数-14.1%である。
株式は、ダウ平均16,229円（26年9月26日）になったが、
景気の良い話は、大手輸出関連企業と、

東京でビジネスをやっている業者が、2017年まで良いだけだ。

我々地方にいる業者が、浮かれているち潰れかねない。

平成26年9月28日
自宅書斎にて
栃木アンカー工業(株)
代表取締役 荒金 憲一

学ぶ者の基本姿勢

1. 我社の教育を受ける者の最も大切な基本的態度とする

守　破　離（修　破　離）

“ 守 ”とは、師匠（先輩）の教えをそっくりそのまま守る事。
一切師匠（先輩）の教える通りにやる。
それ以外のやり方は許されない。

これは、師匠（先輩）は長年修練に修練を重ね
一つのものを築き上げてきているわけである。
ゆえに経験の無い者が批判するのは間違いである。

まず最初は師匠（先輩）の
“ どの様な修練のもと、どの様な考え方、どの様な態度を持っているか ”
をそっくり学ぶ。
言われた事に違反しない。これが基本である。

“ 破 ”とは、師匠（先輩）のものを自分のものにした上で、
そこに自分の新たな工夫・努力を加え、
師匠（先輩）の教えから抜け出し、脱皮していく段階。

“ 離 ”とは、自分の工夫・努力により
師匠（先輩）の教えから脱皮し、
さらに修練を加え、自らが一つの境地を築き上げる。

2. 人に学び、自己の成長を図り幸福になるには、
この“守・破・離”という段階を必ず踏む事が大切である。